

セミナー「東ティモール：紛争後社会における防災と資源管理」

日時: 2013年2月28日(木) 13:15 - 16:45

会場: 東京大学・本郷キャンパス・山上会議場大会議室(2階)

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

主催: 京都大学防災研究所, 東京大学大学院・新領域創成科学研究科・国際協力学専攻

趣旨

他国との戦争や内乱などの紛争が終結した直後の「紛争後社会」へは、食料の緊急援助など、「差し迫った必要性」の為に先進国や国際機関により援助が供与される。「紛争後社会」では、防災機能の多くも紛争により破壊されるため、防災機能の復興は最重要課題の一つである。

しかし、「紛争後社会」では、政府の機能が脆弱である、市民社会が紛争で疲弊しているなど、通常社会とは大きく状況が異なっている。そのため、通常社会に提供される援助プロジェクトと同じ方法で立案された防災機能復興プロジェクトでは、政府機能の脆弱さや市民社会の疲弊などの「紛争後社会」に固有な事情への配慮が十分ではないが故に、実施上の困難が生じる、あるいは、実施されたプロジェクトが防災機能復興のために有為に機能しない、等の問題が散見される。

東京大学大学院・新領域創成科学研究科・国際協力学専攻では、京都大学防災研究所との共同研究として、東ティモールに於ける紛争後の復興プロジェクトについて、防災機能快復と、その前提となるガバナンスの観点から分析を行って来た。

本セミナーでは、東ティモールで立案・実施された復興プロジェクトを手掛かりとして、「紛争後社会」で立案・実施される復興プロジェクトに特有の留意点や、「紛争後社会」でのガバナンスに関わる問題点を抽出し、「紛争後社会」で防災機能復興プロジェクトが円滑に立案・実施されるための方法論的な改善を提言する。

使用言語: 日本語

参加費: 無料

参加を御希望の方は、東京大学大学院・新領域創成科学研究科・国際協力学専攻、佐藤純子秘書 (sato-junko@inter.k.u-tokyo.ac.jp) まで、お名前、ご所属を明記のうえ、電子メールにてお申し込みください。

プログラム(案)

- 13:15～13:30: 開会の辞
- 13:30～14:00: 研究プロジェクトの概要(中山幹康/東京大学大学院 新領域創成科学研究科)
- 14:00～14:30: 国連による紛争後初期支援プロジェクトからの教訓(佐藤麻美/東京大学大学院 新領域創成科学研究科)
- 14:30～15:00: ディリ市での飲料水供給プロジェクト(山本林彌/東京大学大学院 新領域創成科学研究科)
- 15:00～15:30: 紛争後社会での人材教育と能力開発(ハッ塚真里恵/東京大学大学院 新領域創成科学研究科)
- 15:30～16:00: 天然ガスからの収入による「資源の呪い」の懸念(上岡温子/東京大学大学院 新領域創成科学研究科・前川美湖/東京大学総括プロジェクト機構「水の知」(サントリー)総括寄付講座)
- 16:00～16:30: コメント(山敷庸亮/京都大学 防災研究所)と討議
- 16:30～16:45: 閉会の辞(山敷庸亮/京都大学 防災研究所)

註: プログラムは予告なく変更される場合があります。